

# 2022年度 事業計画書

特定非営利活動法人 アフリカ日本協議会

## 1 事業実施の方針

### (1) 在日アフリカ人共生・協働事業

アフリカにルーツを持つ子ども・保護者を対象とした「アフリカンキッズクラブ」を運営し、多様なアフリカ文化に触れ、交流するイベントを実施する。また、悩みや経験を共有したり、相談しあう場を作り、継続的に情報交換を行う。「アフリカンユースミートアップ」は、ユースが主体的に運営し、交流会やイベントを実施する。大学での講演、SNSでの発信、映像制作などさまざまな形で、自分たちの思いや経験を伝え、差別・偏見などの社会課題にも取り組んでいく。なんみんフォーラム、移住連などと連携・協力して、アフリカからの難民・移民の人々への情報提供や支援、交流を行う。

### (2) ネットワーク形成事業

在日アフリカン人共生、協働事業では、移民・難民や在日外国人の人々とともに活動をする市民団体等、また国際保健事業では国際保健に関わる市民団体やアカデミアなど国内外の人々や団体と連携し、情報収集や情報共有、意見交換を促進し、関係強化を進めるとともに、ネットワークを調査研究や政策提言につなげる。

### (3) アフリカ調査・研究事業

2021年度の国内のUHC調査に続き、アフリカ、アジアでのUHC関連調査を実施する。新型コロナに関する最新情報を収集し、パンデミック条約を含む動向について調査し、ウェブサイトやメールマガジンでの発信を行う。FAOの資料を読む学習会を継続し、「世界食料デー」月間では連続講座を他団体や国際機関と協力して開催する。熱帯林・ヨウム保全活動に関わる情報収集につとめ、重要な情報の発信を行う。

### (4) 政策提言事業

GII/IDI懇談会、TICAD8、グローバルファンド増資会合、G7やG20等の国内外のイベントの機会をとらえた政策提言を行うとともに、新型コロナをはじめとする公正な医療アクセス、知的財産権免除の取り組みや西サハラに関する取り組みなどを継続し、ネットワーク形成で取り組んだ横のつながりを生かした提言活動を行う。

### (5) アフリカ理解促進事業

コロナの収束を見込み、オンラインでの交流の場を続けながら、対面または対面とオンラインツール併用のイベントを模索する。会報『アフリカNOW』を3冊発行する。アフリカに関わる日本語ニュースの収集をインターンとともにやり、ウェブサイトへの掲載やメーリングリストへの投稿を行う。

(6) アフリカ支援事業

これまでに築いてきたネットワークを生かし、アフリカの人々の現地での取り組みに協力できる方法を検討し、現地的心声を直接伝えてもらう機会を設け、取り組みについて情報提供、発信を行う。